第四十三回

熊本城（熊本県熊本市）

「泉」主宰 木下 節子 選

熊本市賞

該当なし

特選句

漱石と子規をつなげる夏の雲

熊本県熊本市 三隅 康資

投句総数 十五句

開函日 令和三年七月三十一日

第四十三回

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「泉」主宰 木下 節子 選

奈良・斑鳩町賞

遥かなる虹の根あたり母校かな

奈良県北葛城郡河合町 荻野 鷹生

特選三句

草いきれをみな髪の香りして

奈良県生駒郡斑鳩町 内田 良平

日の落ちてよりの風音袋角

奈良県天理市 松田 吉上

後継ぎの孫も泥んこ早苗植う

奈良県生駒郡斑鳩町 松原 春城

投句総数 五十六句

開函日 令和三年七月三十一日

第四十三回

博物館明治村（愛知県犬山市）

「泉」主宰 木下 節子 選

子規はいく賞三句

夏座敷まだ名前なき猫眠る

愛知県豊田市 小原 麻貴

漱石邸緑の風の抜けてゆく

岐阜県各務原市 永田 良子

万緑や教会奥へ風入れて

三重県伊賀市 和田 文子

特選三句

青楓擦って谷縫ふ村営バス

岐阜県各務原市 左高 富美

走り茶の香り愉しむカステーラ

愛知県小牧市 日榮 順子

鉄橋の煉瓦のアーチ濃紫陽花

愛知県犬山市 前田 武男

投句総数 五十三句

開函日 令和三年七月三十一日

第四十三回

子規庵（東京都台東区）

休庵中のため投句なし

第四十三回

記念艦「三笠」(神奈川県横須賀市)

「泉」主宰 木下 節子 選

特選二句

甲板の暑さ三笠の影に入る

埼玉県さいたま市 大澤 俊介

何事も無き風吹いて終戦日

神奈川県横須賀市 齋藤 秀一

投句総数 五十四句

開函日 令和三年七月三十一日

第四十三回

大和ミュージアム（広島県呉市）

「泉」主宰 木下 節子 選

特選句

該当なし

投句総数 六句

開函日 令和三年七月三十一日

第四十三回

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「泉」主宰 木下 節子 選

特選三句

夕焼が怖いと母の終戦忌

東京都新宿区 赤尾 昌恵

大提灯ゆれて門前夏近し

東京都新宿区 大畑 雅敬

影踏みの影は父なり牡丹雪

京都府京都市 野田 園子

投句総数 四十九句

開函日 令和三年七月三十一日

第四十三回

鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「泉」主宰 木下 節子 選

特選二句

城からの風ふきぬけて雲の峰

新潟県新潟市 安積 愛実

洗濯物嬉々と踊りて梅雨明くる

埼玉県さいたま市 鈴木 哲也

投句総数 四十二句

開函日 令和三年七月三十一日

第四十三回

東松山市（埼玉県東松山市）

「泉」主宰 木下 節子 選

特選三句

薰風や先づ白線を引く球児

埼玉県東松山市 新井 基文

星流る星に詳しき人と居て

埼玉県東松山市 大井 正行

生きものの白ひに満ちて栗の花

埼玉県川越市 吉野 敬子

投句総数 四十句

開函日 令和三年七月三十一日

第四十三回

羽二重団子本店（東京都荒川区）

「泉」主宰 木下 節子 選

俳句のまちあらかわ賞

誰も居ぬ部屋でも真面目扇風機

東京都荒川区 町田 美幸

特選三句

梅雨寒や茶トラと帰る讓渡会

東京都荒川区 池田 洋子

枝払ふ梯子にとどく噂かな

埼玉県さいたま市 石関 和幸

さか上りでできた前髪青葉風

東京都荒川区 山本 博章

投句総数 三十八句

開函日 令和三年七月三十一日